

## 保健医療計画（2018-2023）地域編における取組状況及び次期保健医療計画（2024-2029）地域編に係る方向性について

重点 取組	（現行計画策定時） 課題	（現行計画策定時） 主な取組	平成30年度から令和5年までにおける取組状況 （令和5年度分に限り、見込みの内容で表示しています。）	現状と次期計画（2024- 2029）における方向性	参 考
(1) がん の医 療体 制	○ 気仙圏域の喫煙率は 県内の中でも依然高い 状況にあることから喫 煙者を減らしていく取 組や受動喫煙防止対策 の強化が必要です。	○ 行政機関及び医療機関 等はパンフレット配付、 ポスター掲示や防煙・禁 煙教室などの普及啓発の 取組により公共施設や飲 食施設、職場や家庭にお ける受動喫煙防止対策を 進めるとともに、医療機 関は禁煙外来により禁煙 を希望する方に対しては 禁煙支援を行うなど喫煙 率の低下を図ります。	<p>【無煙環境づくり】</p> <p>【大船渡市】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>公共施設の敷地内禁煙の実施</li> </ul> <p>【陸前高田市】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>公共施設内及び敷地内における禁煙の実施</li> </ul> <p>【住田町】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>公共施設等の完全分煙及び敷地内禁煙の実施</li> </ul> <p>【県立大船渡病院】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>敷地内全面禁煙</li> </ul> <p>【県立高田病院】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>敷地内全面禁煙の徹底、禁煙外来の実施</li> </ul> <p>【普及啓発】</p> <p>【大船渡市】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>特定・基本・後期高齢者健診を受診した喫煙者に対し禁煙メッセージを貼付</li> <li>禁煙啓発ポスター掲示、子育てアプリを用いた禁煙に関する情報発信</li> <li>「スパッと！禁煙教室」実施</li> <li>医師による肺がんをテーマにした市民向け講演会の開催</li> </ul> <p>【陸前高田市】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>禁煙啓発ポスターの掲示及び市広報への掲載、健診や健康教室等の場での普及啓発</li> <li>特定健診受診者のうち喫煙習慣のある者に対する禁煙相談及び指導</li> </ul> <p>【気仙医師会】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>気仙がん診療連携協議会（年2回）への参加</li> <li>患者への受動喫煙による健康被害への指導及び治療</li> <li>禁煙化、分煙化のポスター、チラシ掲示</li> </ul> <p>【気仙歯科医師会・気仙薬剤師会】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>気仙がん診療連携協議会（年2回）への参加</li> </ul> <p>【気仙薬剤師会】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>小中高生に対する喫煙の害等講話開催</li> </ul> <p>【保健所】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「防煙教室」の開催</li> <li>改正健康増進法の周知と関係機関への働きかけ</li> <li>世界禁煙デーの啓発（保健所だより、ポスター掲示等）</li> </ul> <p>【検診】</p> <p>【大船渡市】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>土日検診及び夕方検診の実施</li> <li>特定健診・肺がん検診・大腸がん検診、乳がん検診・子宮頸がん検診の同時実施</li> </ul> <p>【陸前高田市】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>集団健診未受診者への国保診療所での個別健診の実施（特定健診・肺がん・大腸がん・肝炎ウイルス検査・前立腺がん・後期高齢者健診）</li> </ul> <p>【住田町】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>受診勧奨のはがき送付の他、精密検査対象者への訪問勧奨を行った。（胃がん、大腸がん、子宮頸がん、乳がん）</li> </ul>	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和3年度のがんによる年齢調整死亡率は、293.8で県内ワースト2位となっている。</li> <li>令和3年度の気仙圏域のがんの人口10万対死亡率のうち、1位が肺がん95.1、2位が胃がん54.6、3位が膵がん51.1となっている。</li> <li>がん検診受診率は、県平均を上回る傾向が継続しているが、がんの年齢調整死亡率は前記のとおり圏域ワースト2位となっている。</li> <li>成人の喫煙率は、県平均を上回り岩手中部圏域と同率で1位となっている。</li> </ul> <p>【方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>がんによる死亡は、依然として高い割合を占めており、引き続き重点取組として対策を講じていく必要がある。</li> <li>とりわけ、成人の喫煙率は高く、喫煙の健康へ及ぼす害の普及啓発により喫煙率を低下させていく必要がある。</li> </ul>	
	○ がん検診及び精密検査の受診率を向上させることが必要です。	○ 市町はがん検診無料クーポン券の利用などによる受診勧奨を行うほか、土日検診の実施等受診しやすい環境整備に取り組み、関係機関と共に研修や健康教室等の機会を捉えて様々な普及啓発に努め受診率の向上を図ります。			

重点 取組	(現行計画策定時) 課題	(現行計画策定時) 主な取組	平成30年度から令和5年までにおける取組状況 (令和5年度分に限り、見込みの内容で表示しています。)	現状と次期計画(2024- 2029)における方向性	参 考
	<p>○ がん患者を中心に切れ目ない医療を提供していくために、急性期を担う医療機関と急性期以後を担う医療機関との連携や在宅医療を行う関係機関との連携が必要です。</p>	<p>○ 医療機関等は、がん患者の病態に応じた適切な治療の普及に努め、拠点病院である県立大船渡病院を中心に地域連携クリティカルパスや未来かなえネット等の活用による医療連携を推進します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子宮頸がんと乳がん検診のセット検診を実施した。</li> <li><b>【受診勧奨】</b></li> <li><b>【大船渡市】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康づくり推進員による地域等におけるがん検診日程等のポスター掲示及びチラシの班回覧、ホームページ・ツイッター・LINE・FMラジオ・新聞を活用したPR</li> <li>・健康情報誌による検診の受診勧奨</li> <li>・乳がん、子宮頸がんのクーポン券利用による受診勧奨</li> <li>・胃がん・肺がん検診再勧奨はがきの発送</li> </ul> </li> <li><b>【陸前高田市】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・乳がん、子宮頸がんのクーポン利用による受診勧奨</li> <li>・各種研修会や健康教室等の場での受診勧奨の実施</li> </ul> </li> <li><b>【住田町】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ポスター掲示、広報、住田テレビ等を活用したPR活動</li> <li>・受診勧奨はがきを発送(乳がん、子宮頸がん、胃がん、大腸がん)</li> </ul> </li> <li><b>【県立大船渡病院】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・気仙がん診療連携協議会の議題として協議、気仙がんを学ぶ市民講座やパンフレットでの検診に関する情報提供</li> </ul> </li> <li><b>【普及啓発】</b></li> <li><b>【保健所】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・乳がん検診受診率向上のための啓発(ピンクリボンツリー設置、パネルの掲示)</li> <li>・地元新聞への記事掲載</li> </ul> </li> <li><b>【地域医療連携体制の充実】</b></li> <li><b>【大船渡市】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・未来かなえネットへの登録促進(申込書の全戸配布など)</li> <li>・在宅医療WGで開催する地域ケア会議等により関係職種の連携体制構築</li> </ul> </li> <li><b>【陸前高田市】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・未来かなえネットへの登録促進(各戸配付の協力)</li> </ul> </li> <li><b>【県立大船渡病院】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅医療ワーキングのミーティングへの参加(月1回)</li> <li>・MSW(メディカルソーシャルワーカー)業務応援(3回/週)、退院調整看護師配置(1名)</li> </ul> </li> <li><b>【県立高田病院】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・気仙がん診療連携協議会への参画</li> <li>・MSWの大船渡病院から業務応援(3回/週)、退院調整看護師配置の継続</li> </ul> </li> <li><b>【気仙医師会】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅緩和WG(県立大船渡病院と在宅医の連携確認及び参加)</li> <li>・気仙在宅WG(外来抗がん剤治療と緩和ケア、症例検討を通じての多職種連携)</li> <li>・がん診療連携協議会への協力と研修会等への参加</li> <li>・会員である各医療機関同士及び圏域外の医療機関との連携確保</li> <li>・研修会の開催</li> <li>・多職種を交えての研修会</li> <li>・未来かなえネットへの登録促進</li> </ul> </li> </ul>		

重点 取組	(現行計画策定時) 課題	(現行計画策定時) 主な取組	平成30年度から令和5年までにおける取組状況 (令和5年度分に限り、見込みの内容で表示しています。)	現状と次期計画(2024- 2029)における方向性	参 考
	<p>○ キャンサーボードの運営においては、関連する診療科の連携体制の確保のほか、患者の総合的な支援のため、多職種の参画が期待されます。</p> <p>○ がん患者が置かれている様々な状況に応じて、必要なサポートを受けられるようなチーム医療の体制強化が求められます。</p> <p>○ 緩和ケアを、がん治療と並行して実施することが必要です。</p> <p>○ 医師等の医療従事者の育成などにより、地域で必要となる緩和ケア体制の整備が必要です。</p>	<p>○ 拠点病院は、手術療法、放射線療法、薬物療法などの各医療チームを設置するなどの体制を整備し、各職種の専門性を活かして医療従事者間の連携と補完を重視した多職種でのチーム医療の構築を促進します。</p> <p>○ 医療機関及び歯科医療機関等は、がん患者の療養生活の質向上に寄与するため、がん治療における専門的な口腔ケアの実施による医科歯科連携を推進します。</p> <p>○ 行政機関及び医療機関等は、がん治療と並行した緩和ケアの普及を図るとともに、気仙がん診療連携協議会の開催等により在宅医療や介護との連携を含めた地域連携体制の構築に取り組みます。</p>	<p><b>【気仙薬剤師会】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・がん診療連携協議会への協力と研修会への参加</li> <li>・在宅緩和WGへの参加</li> </ul> <p><b>【気仙歯科医師会】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・未来かなえネットによる情報共有</li> </ul> <p><b>【気仙地区介護支援専門員連絡協議会】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県立大船渡病院、高田病院からがんの終末期患者の受入</li> </ul> <p><b>【がん診療連携協議会】</b></p> <p><b>【がん診療連携協議会】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・岩手医科大学及び気仙地域医療機関等との定期的な合同がん診療連携協議会の開催(月1回)</li> </ul> <p><b>【県立高田病院】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(大船渡病院での開催の)開催案内の院内周知</li> </ul> <p><b>【医科歯科連携の推進】</b></p> <p><b>【県立大船渡病院】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域連携クリニカルバスを運用</li> </ul> <p><b>【県立高田病院】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医科歯科連携の実施</li> </ul> <p><b>【気仙医師会】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事例検討を通じて歯科医と連携</li> </ul> <p><b>【気仙歯科医師会】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・気仙がん診療連携協議会参加</li> <li>・NST(栄養サポートチーム)回診(月2回)</li> <li>・医科歯科薬科連携(気仙医師会学術講演の共催と参加)</li> </ul> <p><b>【緩和ケアの普及】</b></p> <p><b>【大船渡市】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・気仙がんを学ぶ市民講座・気仙在宅WGでの緩和ケア研修へ参加</li> </ul> <p><b>【県立大船渡病院】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・気仙がんを学ぶ市民講座の開催</li> <li>・がんサロンの開催〔毎月第2土曜日〕</li> <li>・緩和ケアチームの活動、気仙地域緩和ケア研修会の開催</li> </ul> <p><b>【気仙医師会】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・気仙在宅WG(外来抗がん剤治療と緩和ケア)</li> </ul>		

重点 取組	(現行計画策定時) 課題	(現行計画策定時) 主な取組	平成30年度から令和5年までにおける取組状況 (令和5年度分に限り、見込みの内容で表示しています。)	現状と次期計画(2024- 2029)における方向性	参 考
	<p>○ がん患者とその家族を支えることができるよう、医師や看護師等から十分に納得できる説明や相談が受けられるとともに、医療機関以外との連携体制を構築し、就労支援を含めた患者からの多様なニーズに対応できるような相談支援の体制づくりを進める必要があります。</p>	<p>○ 医療機関は、拠点病院に設置されているがん相談支援センターを活用し、身体的な苦痛はもとより、精神心理的苦痛を持つがん患者とその家族に対する相談支援体制の充実に努めます。</p>	<p>【気仙薬剤師会】 ・ 痛みの評価についての研修会開催 【気仙地区介護支援専門員連絡協議会】 ・ 大船渡在宅WGへ参加し情報共有、相談等実施</p> <p>【相談支援体制の充実】 【大船渡市】 ・ 随時健康相談対応 【県立大船渡病院】 ・ 気仙がん相談支援センター運営 ・ がん情報コーナー、図書を整備</p>		
(2) 脳卒 中の 医療 体制	<p>○ 高血圧を予防するために、減塩や野菜摂取量の増加、運動習慣の定着、禁煙・受動喫煙防止環境の整備、生活習慣病のリスクを高める量の飲酒の抑制などの一層の推進が必要です。</p>	<p>○ 血圧の適正化のため、行政機関及び医療機関等は減塩や運動、禁煙などに関する広報活動や健康教室・健康相談などの一層の充実に努めます。</p>	<p>【講習会等の開催】 【県立大船渡病院】 ・ 「救急の日」のイベントとして医療講演、BLS（一次救命処置）講習会への講師派遣 【気仙医師会】 ・ 市民講座 【気仙薬剤師会】 ・ 住民向け薬の正しい使い方講話 【保健所】 ・ 健康づくり担当者対象の体組成計活用研修会の開催 ・ 給食施設・母子保健関係者等を対象とした減塩リーダー研修会の開催 【健康教室・運動教室等】 【大船渡市】 ・ 市内各地区公民館で「健康づくり座談会」を開催。地域の健康課題の情報提供、運動習慣の定着を目的としたウォーキングマップの作成。 ・ 地域等の健康教室内の個別相談において、正しい知識の提供 ・ 高血圧をテーマとした市民向け健康教室の開催 【陸前高田市】 ・ 高血圧予防の健康教室の開催、減塩に関する栄養教室 ・ 特定健診、特定保健指導の実施 ・ 健診時個別相談及び指導の実施（血圧、運動、禁煙、栄養、特定保健指導） ・ 健康のつどいの開催 ・ はまかだ交流会（健康のつどい内容変更）の開催 【住田町】 ・ 健康チャレンジ事業等の個別指導を中心に健康教室を実施</p>	<p>【現状】 ・ 令和3年度の脳血管疾患による年齢調整死亡率は、117.2で県内ワースト3位となっている。  ・ 一方で、県全域における脳血管疾患による死亡率が全国平均を大きく上回っており、県と数の縮小に取り組んでいく必要がある。  ・ 特定健康診査の受診率、特定保健指導の実施率は県平均を下回っていたものが上回る傾向が認められるが、なお過半には達していない。</p>	<p>【令和3年度末岩手県脳卒中予防県民会議参加団体数】 県：662団体（前年比：66増） 気仙：55団体（前年比7増）</p>

重点 取組	(現行計画策定時) 課題	(現行計画策定時) 主な取組	平成30年度から令和5年までにおける取組状況 (令和5年度分に限りに、見込みの内容で表示しています。)	現状と次期計画(2024- 2029)における方向性	参 考
○ 患者等が地域において安心して療養生活を継続できるよう、医療から介護まで連続したサービス提供が必要であり、病院をはじめ、かかりつけ医やかかりつけ歯科医、かかりつけ薬局、訪問看護ステーション、介護サービス事業所等による連携体制の構築が求められています。	○ 医療機関の役割と機能分担に応じた医療連携体制の整備を促進し、地域の中核病院等を中心に地域連携クリティカルパスを運用し、未来かなえネットの活用等による情報共有など医療から介護までの連携による取組を推進します。	○ 保健所は関係機関等と連携して、減塩レシピの開発、普及等を進めます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・糖尿病予防と減塩のレシピを広報誌に掲載</li> <li>・文化産業まつり「健康づくりコーナー」による減塩試食、PR活動</li> <li>【気仙医師会】</li> <li>・小中高校への出前講座</li> <li>【県看護協会大船渡支部】</li> <li>・市町のイベントでの健康相談、血圧、骨密度測定開催</li> <li>・看護の日イベント(あばっせたかた)での血圧・骨密度測定、塩分摂取等生活指導開催</li> <li>【県立高田病院】</li> <li>・高田高校出前講座の実施</li> <li>・健康講演会の開催</li> <li>【保健所】</li> <li>・健康出前講座の実施(脳卒中を含めた生活習慣病予防)</li> <li>・企業対象健康セルフサポート事業の実施</li> <li>【普及啓発】</li> <li>【大船渡市】</li> <li>・市内スーパーマーケットで減塩に関するリーフレットや減塩レシピの配布。</li> <li>・コンビニエンスストアの販売商品から栄養バランスの良い献立を作成し店内に掲示</li> <li>【陸前高田市】</li> <li>・市広報への掲載</li> <li>・スーパー等での減塩レシピの配付</li> <li>・市立図書館での特設ブースの設置、減塩レシピ等の配布</li> <li>【保健所】</li> <li>・外食栄養成分表示の推進</li> <li>・大型商店等における減塩キャンペーンの実施</li> <li>【病棟の整備】</li> <li>【県立大船渡病院】</li> <li>・地域包括ケア病棟の運用</li> <li>・リハビリテーション専門職員の計画的な増員を検討【県立大船渡病院】</li> <li>【県立高田病院】</li> <li>・地域包括ケア病床(26床(令和5年2月1日より38床))運用</li> <li>・レスパイト入院受入れ(15件)</li> <li>【リハビリテーション体制の構築】</li> <li>【県立大船渡病院】</li> <li>・リハビリテーションの充実のため土曜、日曜及び祝日の体制強化</li> <li>【気仙地区介護支援専門員連絡協議会】</li> <li>・県立大船渡病院、高田病院から老健の役割として在宅復帰に向けたリハビリ目的の入所の受入</li> <li>【医療・介護・福祉の連携体制の構築】</li> <li>【県立大船渡病院】</li> <li>・気仙地域医療連携パス検討会の開催</li> </ul>	【方向性】 ・県において岩手県脳卒中予防県民会議を設立し、「脳卒中死亡率全国ワースト1からの脱却」をスローガンとして活動しているところであり、引き続き重点取組として対策を講じていく必要がある。	

重点 取組	(現行計画策定時) 課題	(現行計画策定時) 主な取組	平成30年度から令和5年までにおける取組状況 (令和5年度分に限り、見込みの内容で表示しています。)	現状と次期計画(2024- 2029)における方向性	参 考
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・気仙地区リハビリテーション地域連携パスの運用</li> <li>・クローバー(患者総合支援センター)に脳卒中相談窓口を設置</li> <li>・リハビリテーション地域連携会議への参加による連携</li> <li>【大船渡市】</li> <li>・退院時カンファレンスへ参加・クローバーとの情報共有・連携により、在宅における支援体制の検討・調整</li> <li>【住田町】</li> <li>・退院時カンファレンスの連絡により参加</li> <li>【気仙医師会】</li> <li>・退院時カンファレンスの在宅医参加</li> <li>【気仙歯科医師会】</li> <li>・大船渡病院による退院時訪問歯科診療体制</li> <li>【気仙地区介護支援専門員連絡協議会】</li> <li>・訪問看護ステーション、訪問リハビリ、在宅支援事業所等が退院時カンファレンスに参加</li> <li>【脳卒中ホットラインの整備】</li> <li>【大船渡地区消防組合本部】</li> <li>・脳卒中ホットラインにより専門医による診断までの時間を短縮</li> <li>【陸前高田市消防本部】</li> <li>・脳卒中ホットライン(専用回線)の運用</li> </ul>		
(3) 糖尿病の 医療 体制	○ 栄養・運動をはじめ、生活習慣の改善を促す普及・啓発や取組が必要です。	○ 行政機関等は健康教室・栄養教室や健康出前講座などを開催し、医療機関は糖尿病外来や糖尿病教室などを開設し、食生活や運動習慣等の生活習慣の改善、肥満の防止等による糖尿病の予防を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>【普及啓発】</li> <li>【大船渡市】</li> <li>・糖尿病予防教室の開催</li> <li>・糖尿病予防に関する市広報誌及び健康情報誌への掲載</li> <li>【陸前高田市】</li> <li>・疾病予防に関する市広報誌への掲載</li> <li>・保健所等との連携による統一のパンフレットでの普及啓発</li> <li>【住田町】</li> <li>・糖尿病予防料理番組の放送</li> <li>・高齢者のフレイル予防や新型コロナウイルス感染症の流行に伴う運動不足解消を目的とした体操番組の放送</li> <li>【気仙歯科医師会・岩手県歯科医師会】</li> <li>・「いい歯の日」イベント開催</li> <li>【気仙薬剤師会】</li> <li>・住民向け薬の正しい使い方講話</li> <li>【保健所】</li> <li>・企業向け情報誌「保健所だより」による情報発信</li> <li>【ロコモ体操等の普及啓発】</li> <li>【大船渡市】</li> <li>・医師や理学療法士によるロコモ(ロコモティブシンドローム)をテーマとした健康講演会の開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【現状】</li> <li>・令和3年度の糖尿病による人口10万対死亡率は、22.9で県内ワースト2位となっている。</li> <li>・令和3年度の腎不全による人口10万対死亡率は、37.9で県内ワースト2位となっている。</li> <li>・岩手県は、全国と比較して糖尿病による人口10万対死亡率が高い傾向にある。</li> <li>・特定健康診査の受診率、特定保健指導の実施率は県平均を下回っていたものが上回る傾向が認められるが、なお過半には達していない</li> </ul>	

重点 取組	(現行計画策定時) 課題	(現行計画策定時) 主な取組	平成30年度から令和5年までにおける取組状況 (令和5年度分に限り、見込みの内容で表示しています。)	現状と次期計画(2024- 2029)における方向性	参 考
	<p>○ 糖尿病の初期には自覚症状が出にくいいため、定期的な健康診査とリスクがある者への保健指導が必要であり、特定健康診査の受診率及び特定保健指導の実施率の更なる向上を進め、糖尿病の予防及び早期発見・早期治療を促すことが必要です。</p> <p>○ 健康診査で要治療となった者のうち治療を受けない者や治療を中断する者も多く、市町</p>	<p>○ 市町・医療保険者は関係機関と連携して特定健診の受診率向上に向けてのチラシの配布やイベントの活用等により特定健康診査及び特定保健指導のさらなる促進を図り、糖尿病の予防及び早期発見・早期治療を推進します。</p> <p>○ 市町・医療保険者は健康診査の受診勧奨や要指導者への保健指導を行い、要治療者への治療勧奨</p>	<p><b>【健康教室】</b>  <b>【大船渡市】</b>  ・市内各地区公民館で「健康づくり座談会」を開催。地域の健康課題の情報提供、運動習慣の定着を目的としたウォーキングマップの作成。  ・高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業を開始し、後期高齢者を対象として糖尿病重症化予防を実施  <b>【陸前高田市】</b>  ・健康教室の開催  ・シェイプアップ教室の開催（夢アリーナたかた会場・体育協会委託）  <b>【住田町】</b>  ・健康チャレンジ事業の実施  ・糖尿病予防ヘルスアップ教室の開催  <b>【保健所】</b>  ・健康出前講座の実施  ・企業対象健康セルフサポート事業の実施</p> <p><b>【特定健康診査及び特定保健指導等】</b>  <b>【大船渡市】</b>  ・特定健診、特定保健指導の実施  ・糖尿病重症化予防個別サポートの開催  ・糖尿病未治療者及び治療中断者への受診勧奨の実施  <b>【陸前高田市】</b>  ・特定健診・特定保健指導の実施と受診勧奨  ・地区健康教室・栄養教室の開催  ・要医療者の未受診者への個別受診勧奨の実施  ・健診時個別相談及び指導の実施（血圧、運動、禁煙、栄養、特定保健指導）  <b>【住田町】</b>  ・特定健診、特定保健指導の実施  ・糖尿病を防ごう広報連載、減塩レシピ広報連載  ・近隣市の医療機関との連携による糖尿病性腎症重症化予防事業の実施  ・地区栄養教室の実施  ・高齢者保健事業と介護予防の一体的実施事業  ハイリスクアプローチ：高齢者の糖尿病性腎症重症化予防事業  ポピュレーションアプローチ：めざせ元気100歳！！健康プロジェクト（町内2地区×3回コースで実施）  <b>【気仙歯科医師会】</b>  ・糖尿病と歯周病の関係ポスター掲示</p> <p><b>【受診勧奨】</b>  <b>【大船渡市】</b>  ・精検未受診者への受診勧奨の実施  <b>【陸前高田市】</b></p>	<p>。【方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・初期は自覚症状が出にくいことから、検診を受診すること、検診結果を正しく理解できるよう普及啓発に継続して取り組んでいく必要がある。</li> <li>・喫煙率を減らす、肥満者を減らすなど自己管理による生活習慣の見直しにより予防に取り組んでもらうとともに、検診や保健指導などにより早期発見・早期治療に取り組んでいく必要があり、引き続き重点取組として対策を講じて行く必要がある。</li> </ul>	

重点 取組	(現行計画策定時) 課題	(現行計画策定時) 主な取組	平成30年度から令和5年までにおける取組状況 (令和5年度分に限りに、見込みの内容で表示しています。)	現状と次期計画(2024- 2029)における方向性	参 考
	<p>・医療保険者による治療勧奨の充実や、市町</p> <p>・医療保険者と医療機関同士の情報共有や連絡体制の整備を含めた緊密な連携が必要です。</p> <p>○ 糖尿病の管理及びその合併症の治療にあたっては、かかりつけ医療機関、専門医療機関及び合併症治療機関が患者の療養を支援できる連携体制が必要です。</p>	<p>や要治療者で医療機関を未受診の者や治療中断者に対しては、医療保険者と医療機関・市町が連携して受診勧奨を行います。</p> <p>○ かかりつけ医療機関が糖尿病の診断及び生活習慣等の指導を実施し、専門医療機関や合併症治療機関が血糖コントロールの維持ができるよう、クリティカルパス、糖尿病連携手帳、糖尿病手帳や未来かなえネットを利用した情報共有や患者の紹介による連携を推進します。</p> <p>○ 糖尿病を発症した場合でも、患者が自己管理を行い、万が一、合併症を発症しても対応できる支援体制を推進します。</p> <p>○ 糖尿病の合併症である糖尿病網膜症、糖尿病足病変を予防するため、医療機関は患者に対して定期的な眼科受診を促すと</p>	<p>・精検未受診者への受診勧奨の実施</p> <p>【住田町】</p> <p>・精密検査対象者へ訪問し受診勧奨を実施し、精密検査未受診者への受診勧奨を実施</p> <p>【気仙医師会】</p> <p>・研修会への参加</p> <p>・未来かなえネット利用による情報共有の推進</p> <p>・特定健診結果における各医療機関受診時の指導、治療</p> <p>・保健所・医療機関・行政との気仙地域糖尿病性腎症重症化予防対策連絡会議開催（3年度新規）</p> <p>・糖尿病性腎症重症化予防対策のための協力医の募集（3年度新規）</p> <p>【気仙歯科医師会・気仙医師会】</p> <p>・歯科医からの糖尿病専門医への患者紹介（3年度新規）</p> <p>【県立大船渡病院】</p> <p>・いきいき健康教室の開催 4回</p> <p>【県立高田病院】</p> <p>・糖尿病外来の実施（月2回）</p> <p>・糖尿病教室の開催（月2回）</p> <p>・糖尿病透析予防指導管理の実施</p> <p>・糖尿病足病変管理の実施</p> <p>【情報共有・連携】</p> <p>・気仙医師会主催研修会への共催と参加【気仙薬剤師会】</p> <p>【県立大船渡病院】</p> <p>・NST回診（月2回）</p> <p>【気仙歯科医師会】</p> <p>・NST回診</p> <p>【陸前高田市】</p> <p>・気仙地域糖尿病性腎症重症化予防対策連絡会への参加</p> <p>・国保診療所と連携した、糖尿病患者等への栄養指導</p> <p>【保健所】</p> <p>・気仙地域糖尿病性腎症重症化予防対策連絡会の開催</p> <p>【合併症防止】</p> <p>【県立大船渡病院】</p> <p>・糖尿病内科医師の採用。糖尿病合併症疾患分野（眼科・腎臓内科・循環器内科・脳神経内科・皮膚科・歯科等々）の医師不在又は定員不足</p> <p>・透析予防指導（毎週水曜日）56件</p> <p>【県立高田病院】</p> <p>・糖尿病内科医師の診療応援継続</p> <p>・糖尿病予防外来の実施（延べ0件）、フットケア外来の実施（延べ0件）（施設基準辞退のため）</p>		



重点 取組	(現行計画策定時) 課題	(現行計画策定時) 主な取組	平成30年度から令和5年までにおける取組状況 (令和5年度分に限り、見込みの内容で表示しています。)	現状と次期計画(2024- 2029)における方向性	参 考
	○ 糖尿病は歯周病の発症や進行に影響を及ぼすなどのことから、かかりつけ医療機関が歯科医療機関と連携することが必要です。	ともにフットケアを推進します。  ○ 糖尿病による歯周病の発症・重症化を予防し、血糖値を改善するため、かかりつけ医療機関が、糖尿病患者の歯周治療における歯科医療機関との連携を推進します。	<b>【多職種の連携】</b> <b>【気仙歯科医師会】</b> ・歯周病検診(成人) ・8020運動 <b>【保健所】</b> ・医師会・歯科医師会・薬剤師会・行政の連携による管内共通リーフレットの作成及び患者等への配布		
(4) 在宅 医療 の体 制	○ 入院医療機関においては、退院支援担当者の配置と調整機能の強化を推進し、入院医療機関と在宅医療に係る機関の円滑な連携により、切れ目のない継続的な在宅医療提供体制を確保することが必要です。  ○ 在宅医療の推進に当たっては、夜間や患者の急変時等、切れ目のない対応・支援を行う体制づくりが重要であることから、地域の実情に応じた在宅医療及び介護、障害福祉サービス等の提供体制を構築する必要があります。  ○ 在宅医療に関わる人材の育成を図るとともに、地域において医療・介護従事者がお互いの専門的な知識を活かしながらチームとなって患者・家族をサポートしていく体制を構築することが求められて	○ 入院医療機関は、患者のニーズに応じて住み慣れた地域に配慮した医療や介護の包括的な提供ができるよう退院支援担当者の資質の向上を図る研修等の実施や、在宅医療や介護の担当者間で、退院後の方針や病状に関する情報や計画の共有を図るため、地域連携会議等を開催し、入院初期からの退院後の生活を見据えた退院支援の取組を推進します。  ○ 行政機関等は、退院後、患者に起こりうる病状の変化やその対応について、退院前カンファレンスへの参加や文書・電話等により、在宅医療に係る機関との十分な情報共有を図ります。  ○ 医療機関は、急性期治療を経過した患者及び在宅において療養を行っている患者等の受入れ並びに患者の在宅復帰支援等の機能を有し、地域包括ケアシステムを支える役	<b>【在宅医療提供体制の構築】</b> <b>【大船渡市】</b> ・在宅医療WGの活用による関係職種間の連携課題解決・連携強化 ・入退院時の患者総合支援センターとの連携 ・新たな医療資源創出への支援【住田町】 <b>【県立大船渡病院】</b> ・地域連携連絡会議の定期開催 ・クローバー(患者総合支援センター)での相談対応 ・在宅療養後方支援病院として、在宅医療提供医療機関との定期的な診療情報交換及び緊急入院受け入れなどの連携強化 <b>【県立高田病院】</b> ・ほっとつばきシステムの活用 ・地域連携連絡会議(大船渡病院開催)参加(年4回) ・高田病院地域連携会議の開催(年1回) ・地域連携だよりの発行(年3回) <b>【気仙薬剤師会】</b> ・地域包括支援センターとの連携、在宅訪問薬剤管理指導の実施 <b>【県看護協会大船渡支部】</b> ・陸前高田市、住田町の健康のつどいでの訪問看護紹介 <b>【気仙地区介護支援専門員連絡協議会】</b> ・訪問看護、訪問リハビリの提供  <b>【在宅医療を担う機関の連携推進】</b> <b>【大船渡市】</b> ・在宅医療WGの活用による関係職種との連携強化 ・未来かなえネット活用による連携強化 <b>【陸前高田市】</b> ・医療機関ガイドブック・介護保険ガイドブック作成 ・在宅医療介護連携センター「みんなの相談室」活用 ・未来かなえネット活用による連携強化 <b>【住田町】</b> ・未来かなえネット活用による連携強化	<b>【現状】</b> ・令和4年10月1日現在の気仙圏域の高齢化率は40.7パーセントで全国及び県平均を上回り、宮古圏域と並んで県内2番目に高い率となっている。 ・令和3年度における人口10万対在宅療養支援病院診療所数は6.9、24時間対応の訪問看護ステーションの看護職員数は28.8で、いずれも県平均に比べると低い数値となっている。  <b>【方向性】</b> ・今後更に高齢化が進んだ場合、通院による受療が困難になる住民などによる在宅医療需要の増加が想定されることから在宅医療の重要性は増しており、引き続き連携体制を確保していく必要がある。  ・国の「疾病・事業及び在宅医療に係る医療体制構築に係る指針」において、「次期保健医	<b>【高齢化率】</b> ・令和4年10月1日現在 全国：29.0 県：34.8 気仙：40.7 ・令和2年10月1日現在 全国：28.8 県：33.7 気仙：39.4  <b>【令和5年7月1日現在】</b> ・在宅療養支援病院・診療所：4か所 ・在宅療養支援歯科診療所：6か所 ・在宅療養後方支援病院：1か所 (東北厚生局：届出受理医療機関名簿)

重点 取組	(現行計画策定時) 課題	(現行計画策定時) 主な取組	平成30年度から令和5年までにおける取組状況 (令和5年度分に限りに、見込みの内容で表示しています。)	現状と次期計画(2024- 2029)における方向性	参 考
	います。	<p>割を担う地域ケア病棟・病床の整備を進めます。</p> <p>○ 行政機関、医療機関、歯科医療機関及び介護事業所等はかかりつけ医・かかりつけ歯科医等が訪問看護ステーションや、かかりつけ薬局、介護サービス等とケアカンファレンスを通じて連携し、患者及び家族を適切に支援する地域医療連携体制の構築を図ります。</p> <p>○ 介護在宅療養患者の急変時に対応して、訪問診療や訪問看護による24時間いつでも対応可能な体制や、「ほっとつばきシステム」の活用により入院医療機関が必要に応じて一時受入れを行う体制など、医療機関や介護事業所等は地域の実情に応じた24時間対応が可能な体制づくりを進めます。</p> <p>○ 医療機関等は、患者や家族、地域の見守りの担い手等に、あらかじめ主治医や訪問看護ステーションの連絡先や緊急時の搬送先の伝達方法を周知するなどにより、急変時の連絡体制の強化を推進します。</p> <p>○ 行政機関、医療機関及び介護事業所等は認知症などの人を対象とした介護施設へのショートステイ等の利用可能なサービ</p>	<p>【気仙地区介護支援専門員連絡協議会】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・訪問リハビリテーションをリハビリ職のほか主治医等とも連携し実施</li> </ul> <p>【在宅医療に係る機関との情報共有】</p> <p>【大船渡市】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入退院時等の患者総合支援センター・退院調整看護師等との連携</li> </ul> <p>【陸前高田市】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・退院時カンファレンスの開催、地域連携パスを活用した情報共有（ケアマネジャーと病院）</li> </ul> <p>【住田町】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・住田町地域診療センター、地域包括支援センター、ケアマネジャー、町内サービス事業所等を参集し訪問診療利用者を中心とした連絡会を月1回実施し情報共有を図っている。大船渡病院の地域連携室職員や薬剤師等の出席もあり退院調整や受診調整等の役割も担っている。訪問診療利用者以外の方のサービス調整を月3回実施。</li> </ul> <p>【気仙医師会】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・未来かなえネット活用による連携強化</li> <li>・退院前カンファレンス及び在宅医療機関との情報共有に関する継続的取組</li> </ul> <p>【気仙歯科医師会】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・退院時訪問歯科診療の連携</li> </ul> <p>【気仙地区介護支援専門員連絡協議会】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・退院前カンファレンスへの参加</li> </ul> <p>【在宅医療の相談窓口の明確化】</p> <p>【大船渡市】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域包括支援センターを総合相談窓口とし、関係機関と連携し相談に対応。また、在宅医療パンフレット・広報等の活用による相談窓口周知</li> </ul> <p>【住田町】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相談窓口は地域包括支援センターが担っており、地域包括支援センターにサービス利用者等の情報が集約されている。</li> </ul> <p>【気仙地区介護支援専門員連絡協議会】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅支援事業所のケアマネジャーの役割として活動</li> </ul> <p>【総合的なリハビリテーション体制の整備】</p> <p>【大船渡市】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多職種連携に係る在宅医療WGへリハビリ専門職の参加</li> <li>・地域ケア会議・介護予防教室へのリハビリ専門職の参加</li> </ul> <p>【陸前高田市】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リハビリ専門職の介護予防教室への講師依頼とアドバイスを依頼</li> </ul> <p>【気仙地区介護支援専門員連絡協議会】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主治医との連携による365日24時間体制の推進（訪問看護ステーション）</li> </ul>	療計画においては『各圏域内に「在宅医療において積極的役割を担う医療機関」及び『在宅医療に必要な連携を担う拠点』を少なくとも1つは位置付けること』とされており、圏域におけるこれまでの取組と連動させる必要がある。	

重点 取組	(現行計画策定時) 課題	(現行計画策定時) 主な取組	平成30年度から令和5年までにおける取組状況 (令和5年度分に限り、見込みの内容で表示しています。)	現状と次期計画(2024- 2029)における方向性	参 考
	<p>○ 口腔機能の低下や誤嚥性肺炎の予防等のためには、在宅療養者の適切な歯科治療が必要です。また、介護施設入所者や在宅の外来受診困難者のニーズに応えるため、在宅歯科医療と介護の連携を確保、強化することが求められています。</p> <p>○ 在宅患者の効果的な薬物療法のために、かかりつけ薬剤師・薬局が薬学的管理指導を行い、患者の状況について医師等と情報共有することが求められています。</p> <p>○ 急変時の対応に関する患者・家族の不安や負担を軽減するため、訪問診療や訪問看護により24時間いつでも対応を可能とする連携体制や、在宅療養支援病院や有床診療所における在宅療養患者の病状の急変時における円滑</p>	<p>スの周知や、在宅重症難病患者の難病医療拠点病院・協力病院における一時入院の受入体制の確保を図り、家族の介護疲れなど、身体的、精神的負担を軽減するためのレスパイトの提供体制の確保や介護家族の交流会など地域の実情に応じた取組を推進します。</p> <p>○ 気仙歯科医師会は、誤嚥性肺炎の予防やフレイル対策等の観点から在宅の要介護者等の歯及び口腔の衛生を確保するため、歯科専門職による口腔ケアの実施や指導等を促進します。</p> <p>○ 気仙薬剤師会はかかりつけ薬剤師・薬局の他職種連携による薬学的管理・指導を促進するため、在宅医療に関する知識の習得や関係機関等との連携手法等に関する研修などを行います。</p> <p>○ 地域包括ケアシステムの構築を進めるため、在宅医療介護連携センター「みんなの相談室」等の地域において在宅医療に必要な連携を担う拠点を中心に、地域包括支援センター等と連携しながら、医療機関や介護事業所等は医療や介護、家族の</p>	<p><b>【口腔ケアの実施、指導の促進】</b></p> <p><b>【大船渡市】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・関係職種対象に、歯科医による口腔ケアの研修会開催</li> </ul> <p><b>【陸前高田市】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・後期高齢者で口腔フレイルが疑われる方への訪問の実施</li> </ul> <p><b>【気仙医師会】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・口腔ケアの実施及び指導の促進に関する継続的取組</li> </ul> <p><b>【気仙歯科医師会】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・仮設住宅における口腔ケア、在宅訪問歯科診療</li> </ul> <p><b>【薬剤師の養成、医療機関等との連携等】</b></p> <p><b>【大船渡市】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅医療WGへ薬剤師が参加し研修・事例検討等の実施</li> <li>・在宅へ薬剤師と同行訪問</li> </ul> <p><b>【気仙医師会】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・気仙地区がん診療連携協議会在宅医療WGでの研修実施</li> </ul> <p><b>【気仙薬剤師会】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多職種合同研修会の開催、症例検討会の実施、地域ケア会議への参加</li> </ul> <p><b>【気仙地区介護支援専門員連絡協議会】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多職種での研修会開催(医療人材育成研修)</li> </ul>		

重点 取組	(現行計画策定時) 課題	(現行計画策定時) 主な取組	平成30年度から令和5年までにおける取組状況 (令和5年度分に限り、見込みの内容で表示しています。)	現状と次期計画(2024- 2029)における方向性	参 考
	<p>な受入れ体制を構築することが求められます。</p> <p>○ 患者や家族のQOLの維持向上を図りつつ療養生活を支えとともに、患者や家族が希望した場所で最期を迎えることを可能にする医療及び介護、障害福祉サービスの提供体制の構築が必要です。</p>	<p>負担軽減につながるサービスが適切に紹介されるよう他職種協働による切れ目のない継続的な在宅医療提供体制の構築を図ります。</p> <p>○ 行政機関、医療機関及び関係団体等は、住み慣れた自宅や介護施設等、患者が望む場所での療養及び看取りを行うことができるよう、多職種が参加する連携会議や研修を開催し、在宅医療を担う機関の連携を推進します。</p>	<p>【大船渡市】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ACP (Advance Care Planning) について広報掲載</li> <li>・ 「わたしの生きるノート」の周知・配布</li> </ul>		